

# 伊高生、頑張っています!

5月30日(火) 南日本新聞

## 記者の目

日置支局・重島修一

三島村黒島で13日あった特攻平和祈念祭で、日置市の伊集院高校生が創作劇を上演した。負傷した特攻隊員と島の娘との交流を軸に、島に不時着した別の隊員が本土に戻って再び出撃した際、島の上空を通過しながら葉や食料を投下した実話なども描かれ胸を打つ。

同校演劇部顧問の上田美和教諭は、前任の屋久島高時代から実話に基づいた脚本を手がける。現地に行き関係者から話を聞くことで、想像力をしのご現実のドラマに出合えるからだ。今回も黒島まで足を運び脚本を仕上げた。

生徒も現地を訪れる大切さを実感したようだ。島の娘を演じた2年の浦

## 現地で学ぶ

島未優さんは「舞台とは違う島の雰囲気を感じられた。方言に苦労していたが、現地でイントネーションを教えてもらい、本番に反映できた」と自身の成長を喜んだ。

劇は6月に伊集院北中学校の芸術鑑賞教室と、生協コープかごしまの「平和のつどい」でも上演される。上田教諭は「場数を踏むほど、生徒はうまくなる」と話し、今後の公演が楽しみだ。

17日にかごしま県民交流センターであるコープの催しは、鹿児島市大空襲に合わせた企画。無料で観覧できるが、申し込みが必要。実行委員会099(286)1115(月)金曜の午前9時〜午後6時。

2023-5-30(火)